

## ジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の使用実態調査

### 1.研究の対象

2021年7月から2023年11月に当院でがん性疼痛に対してジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤（以下、ZT）を導入した患者を対象とし、患者背景、投与量、処方・中止理由、併用鎮痛薬の使用状況、副作用の有無について後方視的に調査します。

### 2.研究目的・方法

WHO方式がん疼痛治療法において、非ステロイド性抗炎症薬はアセトアミノフェン、オピオイドと共に単独または併用して使用することが推奨されています。がん性疼痛に適応を有する貼付剤としてZTが2021年5月に販売開始し、当院で2021年7月より採用開始となりました。今回、当院での使用状況から有効性及び安全性について検討します。

### 3.研究に用いる情報の種類

観察研究

### 4.外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

### 5.研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 高山 直也

### 6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問合せください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 高山 直也